

教育委員会定例会会議録

令和2年1月16日（木）

教育委員会定例会会議録

令和2年1月16日午後4時00分教育長竹内清が教育委員会定例会を茅ヶ崎市役所分庁舎5階特別会議室に招集した。

1 会議出席委員は、次のとおり。

教育長 竹内 清 委 員 赤坂雅裕 委 員 城田禎行
委 員 豊嶋常和 委 員 伊藤甲之介

2 会議出席事務局職員は、次のとおり。

教育総務部長 竹内一郎	教育推進部長 中山早恵子
教育指導担当部長 吉野利彦	教育総務課長 前田典康
教育施設課長 大谷 篤	学務課長 藤木徹也
教職員担当課長 工藤裕一郎	教育政策課長 小池吉徳
学校教育指導課長 青柳和富	社会教育課長 石井 亨
小和田公民館担当課長兼館長 鈴木俊也	鶴嶺公民館担当課長兼館長 三浦悦子
松林公民館担当課長兼館長 森井 武	南湖公民館担当課長兼館長 高木直昭
香川公民館担当課長兼館長 鈴木 朗	青少年課長 岡本隆司
体験学習センター担当課長 太田幸久	図書館長 佐藤 勇
教育センター所長 高橋 励	

3 会議の概要は、次のとおり。

午後4時00分開会

○竹内教育長 それでは、ただいまから1月定例会を開催いたします。

日程第1 教委報告第1号平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果及び分析についてを議題といたします。

担当事務局、説明をお願いいたします。

○学校教育指導課長 日程第1 教委報告第1号平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果及び分析についてについて学校教育指導課長よりご説明申し上げます。

本調査の大きな目的は、児童・生徒が問題に取り組む際にどのようなことに戸惑い、つまづいたかについて分析し、指導の改善を図ることにあります。

本年度は、これらの分析をより具体化することを狙いとして、資料内容等を刷新いたしました。これまでの分析との大きな違いにつきましては、特に課題が見られた問題について、解答類型等を掲載し、児童・生徒の思考の過程が見える形にしたところです。また、図や表を活用し、問題や結果を視覚的に捉えられるようにいたしました。

2ページをごらんください。こちらには調査状況をお示ししております。

3ページをごらんください。こちらには各教科における全国及び神奈川県、茅ヶ崎市立学校の平均正答率をお示ししております。平均正答率につきましては、小学校では、国語は全国平均を下回り、算数は全国平均と同程度でございました。中学校では、国語、数学、英語ともに全国平均と同程度でございました。

4ページから20ページには、小・中学校の各教科の結果及び分析内容をお示ししております。それぞれの教科につきまして、正答率等を比較、正答数分布、領域・観点・問題形式別平均正答率をお示しするとともに、特に課題が見られた問題について、取り上げた理由や解答類型、留意事項をお示ししました。特に課題が見られた問題の解答類型等をまとめ、児童・生徒のつまずきを丁寧に考察し、授業改善につなげていく方策を講じる必要があります。

続いて、21ページから27ページをごらんください。児童・生徒質問紙及び学校質問紙調査から、基本的な生活習慣に関する状況、自己肯定感に関する状況、規範意識に関する状況、学習習慣等に関する状況を取り上げ、結果と分析をお示ししております。これらの結果及び分析から、特に家庭学習にどのように取り組むのかについての指導や、間違えたところを教員がしっかりとフォローするなど、家庭学習が児童・生徒の学習意欲の高まりや理解の深まりにつながるよう、学校全体として丁寧に取り組むことが大切であると考えております。

28ページから29ページには、各家庭、各小・中学校に取り組んでいただきたいこと、教育委員会として取り組まなければならないことについてお示ししております。

本調査の結果及び分析につきましては、今後、小・中学校や市のホームページ等を通じて、保護者や市民に公表していく予定です。

以上、簡単ではございますが、平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果報告とさせていただきます。

○竹内教育長 説明が終わりました。ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○赤坂委員 感想と意見を3点言わせていただきます。

まず3ページに関してです。小学校の段階では、全国の正答率より低いわけですが、中学校になって、国語も数学も英語も全国の正答率より上がっているわけです。これはもう本当に素晴らしいことだと思います。ぜひ、中学校の校長会を通しまして、教育委員が本当に素晴らしいと驚いていると、感謝していますということを中学校の先生方に伝えていただきたいなと思います。

それから、総括の書き方ですが、マイナス5からプラス5までは同程度という表現ですので、中学校、全国平均と同程度であったと書かれていると思いますが、個人的にはやっぱり上回ったと書いていただけたらなと思います。

2点目です。23ページの3番、先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いませんかという点で、一番下のところ、肯定的に回答した教職員の割合は10割で、全ての先生が褒めているということですね。しかし、よいところを認めてくれているについて肯定的に回答した児童・生徒の割合小学校は9割で中学校は8割に差があることに留意する必要がありますと書かれております。確かにそうなんだけれども、私が先生方に言いたいのは、むしろがっかりしないでくださいと。先生方が10割完璧に褒めてくださっているから、8割の中学生が僕は褒めてもらっていると感じているんですよ。先生方がこんなに頑張っているから8割の生徒がこのように感じているんだから、小学校は9割の子が感じるんだから、がっかりせずにこれからも、この褒める、子供のいいところを見つけて褒めてあげてくださいということをお願いしたいと思います。

それから最後、3点目です。24ページ、25ページで、規範意識に関する状況ですが、1番のきまり（規則）を守っていますかは9割を超えているんですね。それから、何と4番の授業中の私語がなく落ちついていると思いませんか、中学校は10割が思っていると答えているんですね。もう奇跡的な数字だと。100%の子供が授業中私語がなく落ちついていますと言っているんですが、これはすごいことだなと思います。5番の礼儀正しいと思いませんか。中学生で9割ですからね。これはいかに茅ヶ崎の子供たちの道徳性が高いかということですね。これは家庭や学校、社会と協力してできているということだと思いますので、本当にこれは誇りに思っております。

○城田委員 今までと分析の仕方を変えたということで、大変見やすくわかりやすくなっていて、我々にとっては評価というか理解しやすい形になっていると思います。実際の学校としてはもっと詳しい分析がされていると思うので、その辺のところは数字的など

ころにもとられずに、一喜一憂せずに丁寧にこれからも進めていていただきたいなと思っております。

特に感心したというか、ほうっと思ったのが、4ページの正答数分布図というのがありまして、要はこれで言うと、例えば小学校の国語で、1問も解答できなかった子の茅ヶ崎と全国平均が棒グラフと折れ線グラフで表現されている。ざっと見た感じ、やはり小学校のマイナスはこういうところに出てきているのかなということで、簡単に言えば、1問も解けなかった子がなくなれば結構いいのかなというものも、ぱっと見てわかるような、ほかの教科に関しましては非常にいいグラフができています。そういったところでも非常にわかりやすいのかなと思います。ぜひ、せっかくまとめていただいたので、うまく生かしていただいて、今後につなげていただければなと思いました。本当にご苦労さまでした。

○伊藤委員 今、城田委員のお話にもありましたけれども、図表などを使うことによって、見やすくなったというところが私もそうだなとは思ったところです。

6ページの小学校の国語で、学習指導に当たっては、次のことに留意することが大切であると書いてあるんですけども、例えば、低学年における基礎基本の重要さとかということも関係しているのかなという気はしています。統計的な根拠を持った話というわけではないんですけども、その点について、例えば、こういうところで、この機会にご説明していく必要も私はあるのではないかと思います。教科の場合はやっぱり基礎基本ということが重要なことだと思いますので、そういうふうな思うんですけども、その辺はいかがでしょうか。

○学校教育指導課長 委員のおっしゃるとおりで、漢字も学習も全て積み重ねになりますので、例えば低学年のときに平仮名の書き方一つ、そこで形を注意する、曖昧なまま、そのままどんどん上に積み重なっていくというものは、その場ではいいんですけども、実際身につくものはありません。ですので、先生方がきちんとお子さんの基礎基本となる形とか勉強の仕方、そこら辺を低学年のうちから積み上げる、これを学校の組織としてやっていくということが非常に重要だと考えております。

○豊嶋委員 皆様のいろいろな力によって、結果と分析、大変な苦労だったと思うんですね。それで、子供たちのいろいろな学びははっきりしてきていますけれども、なかなか家庭での学習ができない中、先生たちが一生懸命苦労されて、1人1人の子供と向き合っているという気がしたので、これからも学ぶことの楽しさと、また、最後のほうに、人とし

てどうやって生きていくかということで、小さいうちから基本的な生活習慣であるとか、いろいろなことがあると思いますけれども、ぜひ、またみんなで協力しながら、茅ヶ崎の教育を考えていこうと思いました。

○竹内教育長 ほかによろしいでしょうか。

ほかにご意見がなければ、日程第1 教委報告第1号平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果及び分析についての報告を終了いたします。

次に、日程第2 事務報告、令和元年第4回市議会定例会についてを議題といたします。

担当事務局、説明をお願いいたします。

○教育総務部長 令和元年第4回市議会定例会は、11月28日から12月19日までの会期35日間で開催されました。12月3日には文化教育常任委員会が開かれ、教育委員会関係では、議案第97号令和元年度茅ヶ崎市一般会計補正予算（第7号）の所管部分と議案第103号茅ヶ崎公園体験学習センター条例の一部を改正する条例の審議が行われました。補正予算では、小学校費の学校施設整備事業費5935万4000円、中学校費の学校施設整備事業費6525万2000円、また、社会教育費として、文化財保護管理経費486万1000円、図書館事業費3991万9000円となっているところでございます。両議案とも原案のとおり、委員会承認を受け、本会議においても議決をいただいたところでございます。

12月13日から12月19日にかけて、本会議第3日から第7日までが開催され、一般質問が行われました。20人の議員が質問に立ち、そのうち教育委員会関連の質問をされた議員は9名でございました。質疑の内容はお手元の資料のとおりでございますので、こちらの詳細の説明は省略をさせていただきたいと思っております。

以上で市議会定例会のご報告とさせていただきます。

○竹内教育長 説明が終わりました。ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○赤坂委員 7ページの平和学習の推進についてのところで、派遣した教員が事前に自分の学校で行った平和学習の教材を活用しながら、ホノルル市の学校の生徒に対して平和について考える授業を行いましたとありますが、どんな授業だったのかを教えてくださいませんか。

○学校教育指導課長 どうしても日本とホノルルですから、戦争のことなんかもあるんですけども、それに限らず、人としてみんなと仲よく過ごしていくためにはというところ

を中心に行ったとは伺っております。

○赤坂委員 真珠湾攻撃のことがあるから、ハワイの子供たちには難しかったろうなと思いますけれども、しかしよくやってくださったと思いますね。ぜひ今後も平和学習を向こうでもやっていただきたいなと思います。

○伊藤委員 感想なんですけれども、本当に、教育長を初めとして関係される方がすばらしい回答をされているなと思ひまして、例えば、21ページの具体的な取り組み等について、具体的な例を述べられていて、そのとおりでなとは思ったところでございます。そして、次のところで、教職員が配慮や支援が必要な子供にとってわかりやすい授業はどの子供にとってもわかりやすい授業であるという、これはまさしくそのとおりなんです。ですから、配慮が必要なお子さんにとってわかりやすい授業というのは、それ以外のお子さんにとってもわかりやすいということなんです。そういうことを述べられていたりとか、その上では、見通しを持ってという単語が出てきていて、子供たちに見通しを持たせるということは物すごく大事なことだと私も思うんですね。そういうことをきちんと述べられていて、それぞれの答弁がすばらしいなと。私から褒められるまでもないよと言われるかもしれませんが、大変すばらしいと思います。

○竹内教育長 ほかにいかがでしょうか。

特にご意見等がございませんようですので、次に進みたいと思います。

次に、第62回成人のつどいの結果についてを議題といたします。

担当事務局、説明をお願いいたします。

○青少年課長 日程第2 事務報告、第62回成人のつどいの結果につきまして、青少年課長よりご報告します。資料2をごらんください。

1月13日に市民文化会館で開催し、13時からの祝典に伴い、茅ヶ崎市ゆかりの方からのお祝いメッセージの紹介、中学時代の恩師からのビデオレターと進み、青少年指導員、教育委員会の職員の皆様のご協力により、大きな混乱もなく、和やかな雰囲気の中で終了いたしました。

当日は、対象者2408人に対しまして、1518人の出席があり、出席率は53%でした。昨年からの記念撮影場所を設けたり、今回初めてボランティアの方のご協力で着つけ直しの部屋を設け、新成人にご利用いただきました。

報告は以上でございます。

○竹内教育長 説明が終わりました。ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします

す。

○城田委員 大変お疲れさまでした。ちょっとお聞かせ願いたいんですけども、今回、クイズ大会という催し物を実行委員会で企画されたと思うんですけども、予算的にはどうだったんですかね。昨年と同じぐらいの予算は当初からあったのでしょうか。

○青少年課長 令和元年度は全体で164万6000円でございます。主なものは音響の設備で85万円、会場使用料で37万8000円、それから外、文化会館周辺の車等の警備もございまして、それが27万8000円です。クイズ大会につきましては、景品等は市内の企業に実行委員の方たちが直接出向きまして、ご寄附といたしますか、提供いただいたものをクイズに使ったということでございます。

○城田委員 全体的には例年並みの予算はとれていたということですね。

○青少年課長 例年並みの予算はとれていました。執行率も、平成30年度も155万円ぐらいでしたので、例年並みということですね。

○城田委員 せっかくやって、今回全国的に成人がマイナスしている中、茅ヶ崎はプラスしている中で、参加者が前年を割っているというのは、やっぱりちょっと寂しかったかなということ、最後まで残っている人たちが本当に少なかったなというところが、やっぱり何か工夫が必要だったのかなという気はしています。実行委員会が決めることですので余りとかくは言いませんけれども、やはり何か工夫が必要だったのかなというのはちょっと課題かなと感じました。

○青少年課長 例年、いつも恩師からのメッセージが終わりますと退席してしまう傾向がございまして。今回、実行委員の方にお願ひして、友達にLINEとか、いろいろ残るようにと願ひしていただいたんですが、やはりちょっと空白時間があつた傾向がございまして、退席が多かつたということでございます。

○赤坂委員 私も意見と感想を述べます。成人の実行委員会の主体として、成人の実行委員会を主人公として、全く新しいことに、全く初めてのことにチャレンジされたというのは高く評価できると思います。

ただ、やっぱり、城田委員もおっしゃられましたが、最後の動画まで残っていた成人が1割ぐらいだったんですよ。これはやっぱり残念だなと、寂しい思いをいたしました。これはやっぱり実行委員会の思いと、彼らは彼らなりに一生懸命やったんですよ。その実行委員会の思いと多くの成人の方の求めるものがやっぱり違っていたということですよ。ですから1割しか残らなかつたんだと思います。

成人の志を育むとか、郷土愛を育む、そういう価値あるものでなかつ、私は6割ぐらいの成人が最後まで残っていたらすごいと思いますよ。6割ぐらいの成人の方が最後まで残るような成人式を、難しいとは思いますが、青少年課にはぜひ頑張って、来年は実現していただけたらと思います。

○竹内教育長 ほかにいかがでしょうか。

特にご意見等がなければ日程第2 事務報告を終了いたします。

日程第3につきましては、人事に関する案件でございますので、関係部課長だけの出席で行いたいと思います。

ここで皆様にお諮りいたします。日程第3につきましては、その性質上、非公開といたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○竹内教育長 異議なしと認め、非公開会といたします。

それでは、日程第3に入る前に事務連絡をお願いいたします。

[事務連絡]

○竹内教育長 それでは、関係部課長を除きまして、皆さんご退席ください。

[関係部課長を除き退席]

午後4時22分閉会